



日本共産党中央区議団議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

自宅: 中央区日本橋浜町3-41-5-1002  
Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議団議員団 Tel 3546-5563  
HPアドレス <http://www.jpchuo-kugidan.jp/>

# 日本共産党 21 議席に

## 議案提案権を獲得



「総選挙で訴えた日本の政治の5つの転換をめざしてこれからもがんばります」と訴える東京2区石沢のりゆき氏（左）。旗を持っているのは私（おぐり）。

中央区では、比例得票数が前回（2012年3615票）の

▼中央区での共産党比例得票  
前回の2倍に  
12月14日に投票された第47回衆議院選挙で、日本共産党は、公示前の8議席の2・6倍となる21議席を獲得しました。  
比例代表は全国で606万票（得票率11・37%）を得て20議席に、小選挙区は沖縄1区で赤嶺政賢氏が当選し、比例、小選挙区あわせて21議席に躍進。参議院に続き衆議院でも「議案提案権」を獲得しました。

### 【比例代表の結果】中央区 東京全体 議席数

政党	中央区	東京全体	議席数
自由民主党	23,652	1,847,986	6
維新の党	11,735	816,047	3
民主党	8,251	939,795	3
日本共産党	7,502	885,927	3
公明党	4,450	700,127	2
次世代の党	2,929	253,107	0
生活の党	1,665	156,170	0
社会民主党	980	129,992	0
その他	325	34,245	0

▼「自民圧勝」というが実際は  
総選挙結果を受け、安倍首相は、「この道しかない」との訴えが「支持された」とのべ、経済政策だけでなく安保・外交や原発、憲法などでも、自らの政

2倍となりました。比例東京ブロックで88万票を得て、笠井亮氏、宮本徹氏、池内さおり氏の3人が当選を果たしました。  
小選挙区東京2区では、石沢のりゆき氏は当選には至りませんでした。前回より大きく伸ばしました。

### 【小選挙区の結果】中央区 東京2区

候補者名	党派名	中央区		東京2区	
		得票数	得票率	得票数	得票率
辻 清人	自民党	28,720	47.40%	103,954	42.63%
おおくま利昭	維新の党	12,083	19.93%	44,550	18.27%
中山よしかつ	民主党	11,971	19.76%	58,407	23.95%
石沢のりゆき	日本共産党	6,521	10.76%	32,296	13.24%
犬丸 勝子		1,302	2.15%	4,668	1.91%

策を推進する考えを明らかにしました。  
しかし、自民党が獲得した議席は前回当選者数も改選時の議席数も下回り、与党の公明党とあわせてようやく議席を維持したにすぎません。  
自民党が議席で多数を得たのは、民意をゆがめる小選挙区制によるもので、国民のなかでの支持は、比例で33%にすぎません。



# 安倍政権が進める「亡国の政治」の防波堤に

―区議会第4回定例会―  
志村たかよし議員が一般質問

11月21日から12月4日の日程で、第4回定例会が行われ、12月25日に、日本共産党を代表して、志村たかよし議員が一般質問を行いました。

志村議員は、消費税増税、格差を広げる「アベノミクス」、集団的自衛権の行使容認、原発再稼働、沖縄の新基地建設など、暴走を続ける安倍政権の「亡国の政治」を具体的に示しながら、区長の見解を問いました。

## 消費税増税の中止を求めよ

11月17日、内閣府が発表したGDP7～9月期の速報値

はマイナス1.6%で2期連続のマイナスとなりました。志村議員は、「4月からの消費税増税が消費を冷やし、

暮らしと経済を悪化させている」「安倍

政権と、3党合意で増税を進めた自民・公明・民主の責任は極めて重い」と指摘し、「消費税増税中止を国に求めるべき」と質問しました。

また、消費税に頼らない財源として●景気回復による税収の増加、●大企業・大資産家の応分の負担でまかなう―という日本共産党の考えを示し、区長の見解を問いました。区長は「すみずみまでは好

### 【質問項目】

1. 暴走する安倍政権がすすめる「亡国の政治」について
2. 安倍政権の悪政から区民を守る行政の役割について
3. 「小規模企業振興基本法」をいかにした施策について
4. 中央区都市整備公社とNPO「築地食のまちづくり協議会」の関係について
5. 築地市場「移転」問題について
6. 中央区のまちづくりの問題点について
7. 教育委員会改革について

況感が広がっていない」と述べつつ、消費税増税は「法律で定められているので、国に中止を求める考えはない」などと答弁しました。

## 区民や中小業者へ支援を

志村議員は、経済状況の悪化の中、懸命に頑張っている中小企業や商店への経済的支援や、区民への生活支援を強化するよう求めました。

特に「敬老買物券」は、08年に始まった後期高齢者医療制度によって高齢者の負担が増えることから、それを補う目的で増額されたのに、昨年、対象者を75歳以上に引き上げ、贈呈額は8千円から3千円に引き下げてしまいました。志村議員は、区の冷たい姿勢を追求し、「敬老買物券」を12年度までの水準に戻すよう求めましたが、区長は、高齢者の人口が増えていることなどを理由に、前の水準に戻すとは答弁しませんでした。

## 新連載 日本共産党Q&A

Q：共産党は、約束をまもってくれますか？

A：92年間、国民を裏切らずに、スジを通してきた政党です。

日本共産党は、1922年の創立のときから、「侵略戦争反対」「主権在民」をかかげ、国民を裏切ったことのない政党です。その歴史と、未来への理想が、党の名前にも込められています。

31万人余の党員、2万の党支部、2700人の地方議員が、草の根で国民とむすびついて活動。企業や労働組合からの献金も、政党助成金もいっさい受け取らず、国民のみなさんに支えられた政治活動をしているから、ぶれずにモノをいうことができるのです。

(日本共産党HPより転載)



本会議場で質問する志村議員



▲本会議場での質疑応答は、中央区議会HPで録音を聞くことができます